

町政一般質問通告一覧表

令和3年7月定例会

令和3年7月28日

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
1	町道・農道・林道等、生活道路管理について	○生活道路として重要な道路。特に本町の中山間部における道路が通行に支障をきたすまで維持管理が出来ていない。 (緊急車両が通行できないのではと危惧する状況) これまで住民の皆様の協力により適正な状況を維持できてきたことも推察するが、コミュニティ内の高齢化により、厳しい状況になったことも起因しているのではないかと。今後の対策・対応は如何に。	町長	6番 阿部 豊 (一問一答)
	子育て支援について	○「子育て世代を重要視」する旨の発言を拝見したが、町内の公立保育所について、全て民営化の方針であられる。現在の町内保育所は、2保育所1幼稚園を民営化され、1公立保育所が現存している状況。民間保育所との協働及びバランス、国の新たな子育て支援への対応、セーフティネット的存在意義において、1公立保育所は存続した現状が、本町の持続可能な子育て支援にはベストと考えるか、如何に。		
	ゴミ処理施設の長寿命化について	○住民生活に欠かせないゴミ処理施設、長寿命化(15年)に30億円の試算。広域連携協議は如何に。		
	給食センター新設について	○2018(H30.6月)、2020(R2.6月)一般質問を行ったが、未だ進展を見ない。基本設計・実施設計含め3ヶ年の期間を必要とする事業と伺っている。アレルギー対応等、命に係わる重要かつ急務な事業であるが、現状の進展は如何に。	町教育長	
2	町道の維持管理について	①生活道路である町道などは、安全で快適に安心して利用できるよう日頃から道路管理者として維持管理に努める責務があるが、見解を伺いたい。 ②この度の選挙で町内一円を回られたと思うが、山間部の町道の管理状態をどのように見て捉えられたのか伺いたい。 ③山間部の町道は、維持管理が十分にできている状態ではないと思うが、今後はどのように取り進めようと考えているのか、方針を伺いたい。 ④山間部の町道は、5～6年の周期で、業者による環境改善に努める必要があると考えられるが、見解を伺いたい。	町長	1番 平田 康範 (一問一答)
	高齢者の外出支援について	①以前の質問で、外出支援タクシー助成と新たな移動支援など組み合わせができないか、今後研究すると回答されているが、その後どのような結論となったのか、伺いたい。 ②外出支援事業で町中心部と遠隔地の方では乗車料金の自己負担額が異なるが、同じ75歳以上を対象としている中で、公平性が欠けているとの意見も多くあるが、町長の見解を伺いたい。 ③町中心部から居住地の距離を考慮した利用券の交付枚数、一度の乗車で利用券を複数枚を使用できる制度にするなど、75歳以上であれば誰もが同じ恩恵が受けられる制度に見直す必要があると考えられるが見解を伺いたい。		

番号	質問事項 (質問名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
3	大雨や台風の自然災害時期を迎えるにあたり本町の対策は	先日の静岡県熱海市などの想定外なる降雨量に、山間部より大規模なる土石流発生。短時間の間に数多くの死者、行方不明者が続出と報道された。本町も山間部に囲まれた地形であり、大雨による上流よりの河川決壊は、昭和42年の大規模水害被害による記憶は風化することはない。住民の皆さんが一番望まれているのは、安心・安全な町である。今現時点で、本町が取り組んでいる未然災害対策についての現状は。また、令和2年9月の定例会一般質問で、検討すると言われた災害対策の「危機管理課」の創設は。	町長	5番 長谷川 忠 (一問一答)
	終息の見えないコロナ禍において職員に負担増となっていないか	本町も、新型コロナウイルス感染症による65歳以上のワクチン接種も終了まじかな状況の中、先月においては町職員の本町29例目となる感染者が発覚。これも職員の業務多忙による労務過剰が要因ではなかったのか。職員の業務負担増が残業につながり、精神面にて不安定を生じ、職場だけではなく家庭内でも病んでいる実情はないのか。職員に対してメンタル面の調査、労務改善策などの対応策による考えは。		
	本町は75歳以上の外出支援策としてタクシー券の助成を行っているが、親族の利用は出来ないものか	平成27年7月より、病院通院・買物難民などの外出支援として、75歳以上の方にタクシー利用券を助成なされているが、対象者にはこういう助成があると告知されているのか。また、年間申請者（令和2年4月～令和3年3月の1年間）の数と歳出額は。現在、タクシー利用券は本人以外での使用は出来ないとなっているが、当事者が高齢となり入院となった場合には、配偶者又は親族の看護・見守りに利活用の緩和は出来ないものか。		
4	きめ細かな行政サービスの提供	①均衡ある行政施策について ○町内一円巡回し、道路管理で、早急に対策をとる必要性を感じたが如何に。 ○熱海市の土石流の盛土流出が問題になっているが、土砂災害危険箇所など災害予防としての指導は、どうしているのか。 ○森林環境譲与税財源のその後の検討状況と用途は。 ②医療的ケア児及びその家族に対する支援について ○医療的ケア児の対応実態は。 ○法律制定に伴う、自治体責任としての検討状況と支援策は。	町長 所管課長	9番 須藤 敏規 (一問一答)
5	町政の基本姿勢について	①2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現にむけた取り組み。「太陽光パネル」設置について ②防災・減災に向けた対応について。とくに排水ポンプの点検・避難所設置と改善について「緊急防災・減災事業債、緊急自然災害防止対策事業債」の期間延長をどう活用するのか。ため池対策など。	町長	4番 永田 勝美 (一問一答)
	新型コロナ対策について	①ワクチン接種の促進・PCR検査の拡充に向けた今後の取り組みについて ②失業・収入減少などに伴う生活支援の取り組みについて		
	町内交通の整備について	①多目的の町内循環バスの実現に向けて、調査・検討は怎么样了か ②高齢者外出支援タクシー利用助成の運用改善について		
	くらし・福祉の充実に向けて	①国民健康保険制度の改善について、子どもの均等割廃止について ②3才未満児の保育料無償化について ③すべてのこども達の保育所副食費無償化、小中学校児童生徒給食費無償化について		

番号	質問事項 (質問件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
6	公約に掲げるまちづくりの具体策について	町長の4期目の公約に掲げるまちづくりの具体策を、それぞれの項目ごとにお伺いします。 ①子育て支援分野における給食センター建設事業の行程確認 ②安全安心のまちづくりにおける新庁舎建設の今後の課題と高齢者外出支援の取扱いについて ③行政サービス、住民福祉の向上に対するし尿処理施設整備とクリーンセンター整備事業の取り組みについて ④産業の持続発展の中、佐々インター周辺の再開発と、道路問題について	町長	7番 永安 文男 (一問一答)
	政策推進を図るための改革について	これからの町長が描いたまちづくりを行うためには、業務推進において内部の改革が必要になってくるものと思いますが、組織体制と協議態勢についての考えはいかに		
7	桜管理について	○平成16年17年に桜の里づくりで植えられ多くの桜が大分大きくなってきたようです。しかし、管理不足が最近目立ちます。桜堤の河津桜、真竹谷の枝垂れ桜、皿山公園、千本公園の桜、神田工業団地の法面の桜、小浦ポンプ場横の河津桜、どこを見ても草が覆いかぶさがっているところもあります。梅雨時期の為、やむを得ないとは思いますが、あまりにもひどすぎます。今後どう管理されるのか伺いたい。	町長	8番 橋本 義雄 (一問一答)
	歩道整備について	○佐々町は、まだ歩道整備がされていないところが多く見られます。先日千葉県八街市でいたましい事故が起きたことは、皆様ご承知と思います。歩道の要望がなされていた箇所です。佐々町でもそういうところがあります。例えば神田線です。何年も前に陳情書は出されているのにまだ出来ていないとのこと。近年町内会は人口が増え、小中学校の生徒さんもかなり多くなっています。安心安全で通学できるように、早急な歩道の整備を町内会の皆様が望まれて、陳情されておられるのですから、具体的な回答をお願いします。		
	防災・避難道路の整備について	○町道には、通り抜けができない道路がまだまだあります。例えば、脇溝線、塀ノ坂線です。どちらも行き止まり道路です。それを結ぶことで、通り抜けが出来て、住民の生活の向上につながります。避難場所である神田公園に早く来ることができず、緊急車両の通り抜け道路として、又地域住民の切なる要望でもあり、防災活動の推進の為にも整備をするべきだと思うのですが、どうですか。		
	真竹谷周辺の整備について	○真竹谷の枝垂れ桜の上の方に、県で環境防災林整備工事が行われ、300mあまり小川の整備と歩道、木柵が作られています。草木が覆い荒れ放題となっています。せっかく整備されたもの、何か活かす方法はないのでしょうか。枝垂れ桜の駐車場を整備するとか桜を植えるとか考えたらどうか。		